

層雲峡ビジターセンター



【 赤岳 2025 年の紅葉・9 月 】

今年も大雪山赤岳では、例年通り 9 月中旬頃から下旬にかけて紅葉の見頃を迎え、訪れた多くの方々を魅了しました。銀泉台から山頂にかけて、ウラジロナナカマドやウラシマツツジ、ダケカンバが鮮やかに色づき、赤・黄・緑の美しいグラデーションが山肌を彩りました。特に第三雪渓周辺では、紅葉と高山植物が織りなす景観が見事で、青空とのコントラストも際立ち、写真愛好家や登山者にとって忘れたがたい秋のひとつとなりました。

今年は夏の猛暑の影響か、ウラジロナナカマドの一部は紅葉を迎える前に葉が枯れてしまう現象が見られましたが、紅葉のピークを越えた後の色づきも美しく、今年も自然の変化を感じる一年となりました。

「日本一早い大雪山の紅葉」は終了しましたが、来年もまたこの美しい自然の彩りを楽しみに、多くの方々のご来訪をお待ちしております。

紅葉と黄葉

秋になると山々や街路樹が、赤や黄色に染まり風景は一変します。

黄色に変化する葉もあれば赤く変化する葉もあります。それはなぜでしょうか？

秋になり気温の低下や日照時間が短くなると、植物は葉の付け根に「離層」を形成して水分や栄養の供給を止める準備を始めます。これにより、光合成に必要な緑色の色素「クロロフィル」が分解され、葉の緑が失われていきます。

黄葉は、もともと葉に含まれていた黄色や橙色の色素「カロテノイド」が、緑色の色素「クロロフィル」の減少によって表に現れることで起こります。一方、紅葉は「アントシアニン」という赤～紫の色素が秋になってから新たに生成されることで生じます。冷え込みと日照のバランスがアントシアニンの合成を促進し、鮮やかな赤色が現れるのです。

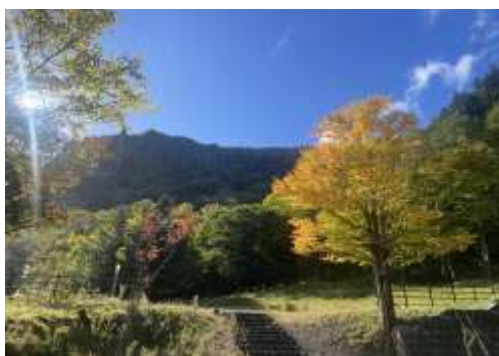


黄葉は「隠れていた色が現れる」現象であり、紅葉は「新しく作られた色が現れる」現象です。

この違いは、いずれも植物が持つ巧妙な仕組みによるもので、季節の移ろいを感じさせてくれる大切な風景となっています。植物は離層を形成し、クロロフィルの合成を停止したのち、葉が枝から離れるまでのわずかな時間に、私たちはその美しい紅葉を楽しんでいるのです。それは、命が静かに次の季節へとバトンを渡す、ほんの一瞬の輝きでもあります。

その姿は、自然の循環の中にある「終わり」と「始まり」をそっと語りかけてくるようで、私たちの心にも静かな余韻を残していくのです。

層雲峡温泉街や紅葉谷の紅葉は例年10月上旬～中旬頃が最も美しい時期です。



秋の彩りが過ぎれば雪の季節がすぐそこです！



❖ 層雲峡温泉紅葉谷 ❖

ライトアップイベント開催中です！

10/13(月)まで毎晩開催

(18:00～21:00 最終入場 20:30)

層雲峡ビジターセンター

電話 01658-9-4400

WEBSITE <http://sounkyovc.net>

〒078-1701

北海道上川郡上川町字層雲峡